



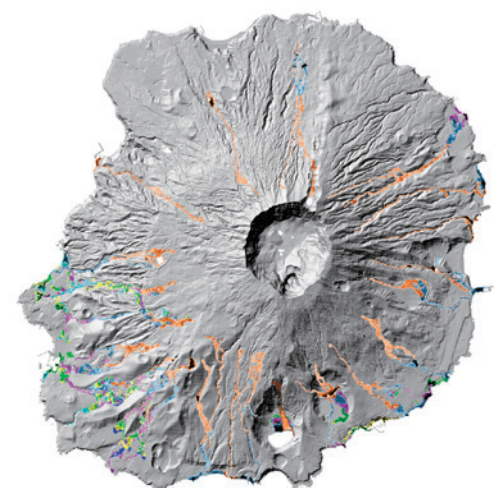
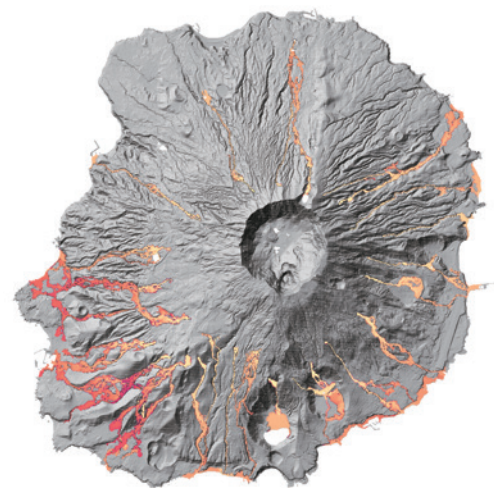
火山の未来を観る

# 次世代火山研究・人材育成 総合プロジェクト

Integrated Program for Next Generation Volcano Research and Human Resource Development



Japan  
Volcanological  
Data Network



文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

# 目次



火山の未来を観る  
次世代火山研究・人材育成  
総合プロジェクト  
Integrated Program for Next Generation Volcano Research and Human Resource Development

はじめに	3
ご挨拶	3
プロジェクトの概要	5
プロジェクト参加機関一覧	5
課題A 各種観測データの一元化*	6
【事業責任者】国立研究開発法人防災科学技術研究所 地震津波火山ネットワークセンター 火山観測管理室長 上田 英樹	
課題B 先進的な火山観測技術の開発	9
【事業責任者】国立大学法人東京大学地震研究所 教授 大湊 隆雄	
課題B サブテーマ1 新たな技術を活用した火山観測の高度化	11
【分担責任者】国立大学法人東京大学地震研究所 教授 田中 宏幸	
課題B サブテーマ2 リモートセンシングを活用した火山観測技術の開発	12
【分担責任者】国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山研究推進センター 上席研究員 小澤 拓	
課題B サブテーマ3 地球化学的観測技術の開発	13
【分担責任者】国立大学法人東京大学先端科学技術研究センター 教授 角野 浩史	
課題B サブテーマ4 火山内部構造・状態把握技術の開発	14
【事業責任者】国立大学法人東京大学地震研究所 教授 大湊 隆雄	
課題B2-2 火山観測に必要な新たな観測技術の開発**	16
位相シフト光干渉法による多チャンネル火山観測方式の検討と開発	
【事業責任者】国立大学法人京都大学防災研究所 教授 中道 治久	
【分担責任者】白山工業株式会社 基盤開発部長 平山 義治	
課題C 火山噴火の予測技術の開発	17
【事業責任者】国立大学法人北海道大学大学院理学研究院 特任教授 中川 光弘	
課題C サブテーマ1 火山噴出物分析による噴火事象分岐予測手法の開発	19
【分担責任者】国立大学法人東京大学地震研究所 教授 安田 敦	
課題C サブテーマ2 噴火履歴調査による火山噴火の中長期予測と噴火推移調査に基づく噴火事象系統樹の作成	20
【分担責任者】国立大学法人北海道大学大学院理学研究院 教授 栗谷 豪	
課題C サブテーマ3 シミュレーションによる噴火ハザード予測手法の開発	21
【分担責任者】国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山防災研究部門長 藤田 英輔	
課題D 火山災害対策技術の開発	22
【事業責任者】国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山研究推進センター 特別研究員 中田 節也	
課題D サブテーマ1 無人機（ドローン等）による火山災害のリアルタイム把握手法の開発	24
【分担責任者】アジア航測株式会社先端技術研究所 室長 千葉 達朗	
課題D サブテーマ2 リアルタイムの火山灰ハザード評価手法の開発	25
【分担責任者】国立大学法人京都大学防災研究所 教授 中道 治久	
課題D サブテーマ3 火山災害対策のための情報ツールの開発	26
【事業責任者】国立研究開発法人防災科学技術研究所 火山研究推進センター 特別研究員 中田 節也	
火山研究人材育成コンソーシアム構築事業	27
コンソーシアム代表機関実施責任者 国立大学法人東北大学大学院理学研究科 教授 西村 太志	

\* 課題 A：課題 A は、令和 6 年度から火山調査研究推進本部に関する取組として移管されましたが、JVDN システムは本プロジェクトのプラットフォームとして引き続き開発を行っています。

\*\* 課題 B2-2：令和 5 年度で完了しました。

課題 B2-1（火山観測に必要な新たな観測技術の開発－空中マイクロ波送電技術を用いた火山観測・監視装置の開発）は令和元年度で終了し、事業の一部は課題 B サブテーマ 4 に統合され、令和 2 年度で完了しました。

表紙写真：左上 蔵王山御釜、右上 三宅島溶岩流ドリルマップ、左下 草津白根山実習巡検 国道最高点から白根・本白根火砕丘群および浅間山を遠望（2024 年 9 月 2 日）、右下 アイスランド・レイキャネス半島の割れ目噴火（2024 年 11 月 22 日）